

2024年11月期 [第25期] 第3四半期 決算説明資料

2024年10月11日
株式会社エスプール
東証プライム (2471)



1. FY2024 3Q 業績概要
2. FY2024 3Q 事業別概要
3. FY2024 業績予想

1. FY2024 3Q 業績概要

当社は、FY2024より国際会計基準（IFRS）を適用しています。
それに合わせFY2023の実績値も、2024.1.12に開示した日本基準から
2024.2.29に開示したIFRSの数値に変更しています。

連 結

前期比では減収減益となるものの、計画比では利益面を中心に概ね計画通りの着地
売上が集中する4Qに向けて、各種準備が進む

売上収益

18,179 百万円
(前期比△6.1%)

営業利益

1,279 百万円
(前期比△39.1%)

当期利益 ※

1,047 百万円
(前期比△21.0%)

※親会社の所有者に帰属する四半期利益

ビジネスソリューション事業

売上収益

10,164 百万円
(前期比+11.9%)

- ・ 障がい者雇用支援サービスは好調維持。閑散期の中、受注・販売ともに続伸
- ・ 広域行政BPOサービスは、国策系業務の開始により売上が大きく増加
四半期での過去最高売上を達成
- ・ 環境経営支援サービスは、通期計画達成に向けて進捗良好

人材ソリューション事業

売上収益

8,073 百万円
(前期比△21.9%)

- ・ 新型コロナ関連の業務剥落の影響により、大幅な減収減益が続く
- ・ コールセンター派遣は、わずかながらに需要回復の兆し
4Qでの底打ちを目指す
- ・ 建設技術者の派遣を開始

売上は、人材アウトソーシングサービスの売上減の影響により減収に
 営業利益は、上記理由に加え、環境経営支援サービスの主要売上が4Qとなることにより減益に
 計画比では利益面を中心に概ね計画通りの着地

(百万円)	FY2024 3Q 実績	FY2023 3Q 実績	対前年増減	対前年比
売上収益	18,179	19,352	△1,172	△6.1%
売上総利益	6,183	6,664	△480	△7.2%
売上総利益率 (%)	34.0%	34.4%	-	△0.4pt
販売管理費	4,921	4,634	+287	+6.2%
売上高販管費率 (%)	27.1%	23.9%	-	+3.2pt
営業利益	1,279	2,101	△822	△39.1%
営業利益率 (%)	7.0%	10.9%	-	△3.9pt
税引前四半期利益	1,128	2,013	△885	△44.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,047	1,325	△278	△21.0%

人材ソリューション事業は、コロナ関連業務剥落の影響により大幅な減収減益に
 ビジネスソリューション事業は、4Qの伸びにより、通期では増収増益見込み

(百万円)		FY2024 3Q 実績	FY2023 3Q 実績	対前年増減	対前年比
売上収益	ビジネスソリューション事業	10,164	9,082	+1,081	+11.9%
	人材ソリューション事業	8,073	10,331	△2,258	△21.9%
	調整額	(57)	(61)	-	-
	合計	18,179	19,352	△1,172	△6.1%
営業利益	ビジネスソリューション事業	1,963	2,341	△377	△16.1%
	人材ソリューション事業	631	929	△298	△32.1%
	調整額	(1,315)	(1,169)	-	-
	合計	1,279	2,101	△822	△39.1%
営業利益率	ビジネスソリューション事業	19.3%	25.8%	-	△6.5pt
	人材ソリューション事業	7.8%	9.0%	-	△1.2pt
	合計	7.0%	10.9%	-	△3.9pt

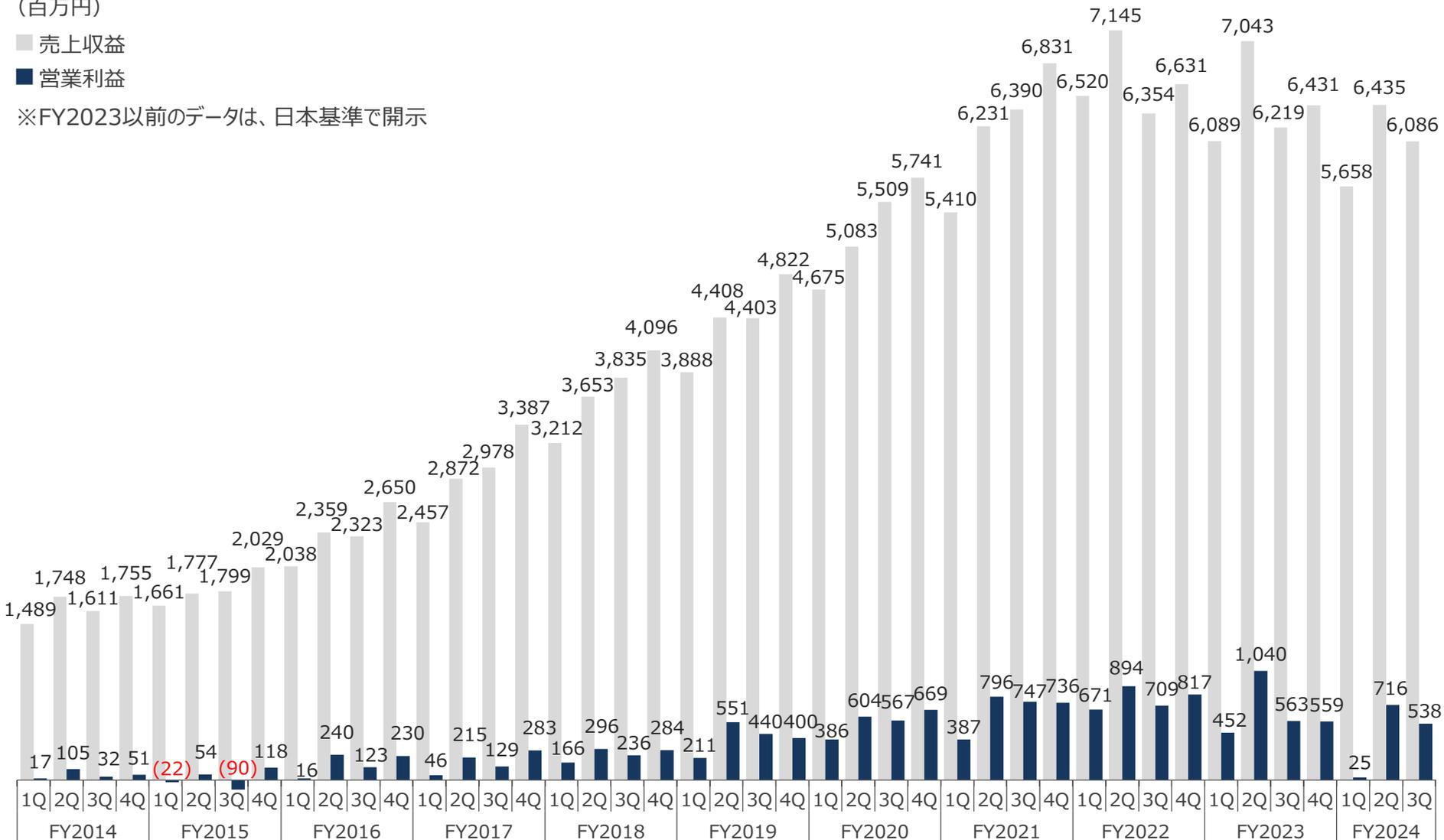
ビジネスソリューション事業：障がい者雇用支援、広域行政BPO、環境経営支援など
 人材ソリューション事業：人材派遣サービス（コールセンター、販売支援など）
 調整額（営業利益）：本社部門費用、共通費用、その他の収益・費用など

障がい者雇用支援サービス、広域行政BPOサービスのけん引により、3Qは堅調に推移

(百万円)

■ 売上収益
■ 営業利益

※FY2023以前のデータは、日本基準で開示



2. FY2024 3Q 事業別概要

[ビジネスソリューション事業]

売上収益 **5,844** 百万円 (前期比+24.0%)

法定雇用率引き上げの影響により、受注・販売ともに好調を維持

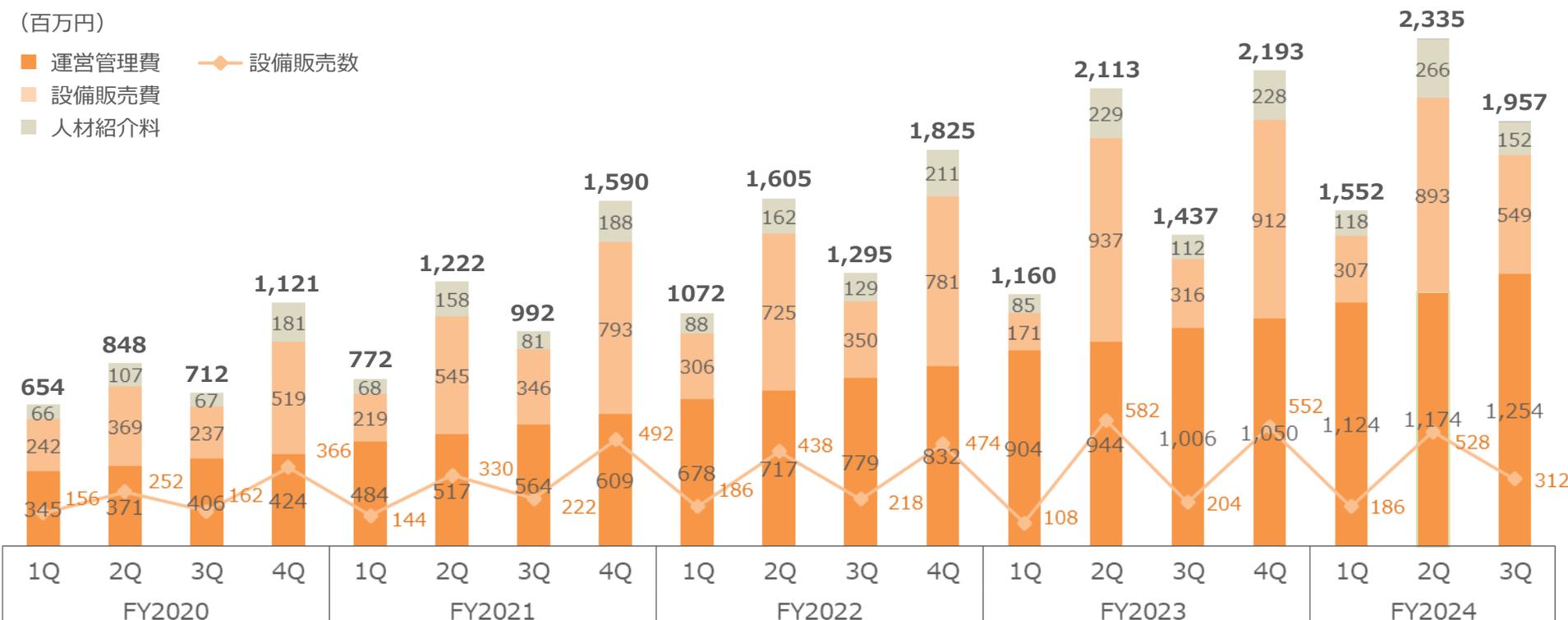
[設備販売] 3Q: 312区画 (計画: 275-325区画) [管理区画] 8,485区画

[顧客数] 651社 (新規12社/解約2社) [就労者] 4,243名 (定着率92%) [農園数] 51施設

- ・ 3Qの設備販売として、初の300区画超え。農園は1施設開設 (屋内1)
- ・ これまでのノウハウを活用したオフィスワーク中心のマッチング (採用・定着支援) サービスを開始

(百万円)

■ 運営管理費 ◆ 設備販売数
■ 設備販売費
■ 人材紹介料



売上収益 **917** 百万円（前期比△10.0%）

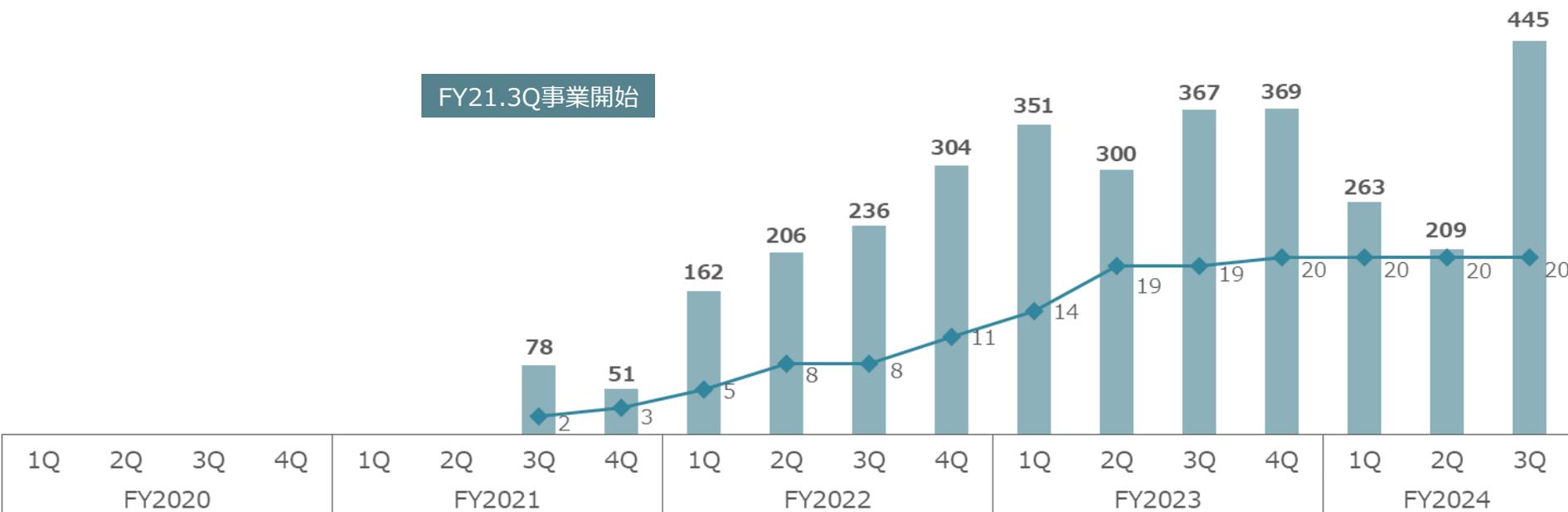
国策系業務の開始により売上続伸。四半期での過去最高売上を大きく更新

- ・ 定額減税に関連した国策系業務が開始
- ・ 2024年9月に新センターを沖縄県宜野湾市に開設。広域行政モデルで業務開始
- ・ 国策系業務に関しては、総選挙後の動向注視。ベースとなる広域行政業務の営業に引き続き注力

(百万円)

■ 売上収益
◆ センター数

FY21.3Q事業開始



売上収益 **609** 百万円 (前期比△30.3%)

営業好調。4Qの大幅伸長により、通期計画 (売上収益1,430百万円) は達成見込み

- ・ 主力サービス (CDPのコンサル) の納品時期変更 (3Q→4Q) により、3Qは減収に
- ・ CDPコンサルの受注は前期から大幅に増加。4Qの売上は、過去最高の大幅更新が確実に
- ・ 自治体向けのコンサルサービスも好調に推移。受注累計は、50自治体を突破

(百万円)

■ 売上収益



ロジスティクスアウトソーシングサービス



売上収益 **978** 百万円（前期比△12.5%）

- ・ 物流センターの運営代行業務からの撤退等の影響により、減収減益に
- ・ 通販の発送代行サービスの収益改善により、今期累計が黒字に転換

採用支援サービス



売上収益 **566** 百万円（前期比+3.6%）

- ・ 新規顧客は順調に増加するも、AI活用による単価下落により、売上は微増にとどまる
- ・ 業務の効率化、生産性の向上により、営業利益は2桁成長を達成

セールスサポートサービス



売上収益 **821** 百万円（前期比+34.4%）

- ・ 拠点開設の効果により、大規模キャンペーンの受託が進み、売上が大きく増加
- ・ ベルシステム24との共同サービスも順調に拡大

[人材ソリューション事業]

売上収益 **8,073** 百万円 (前期比△21.9%)

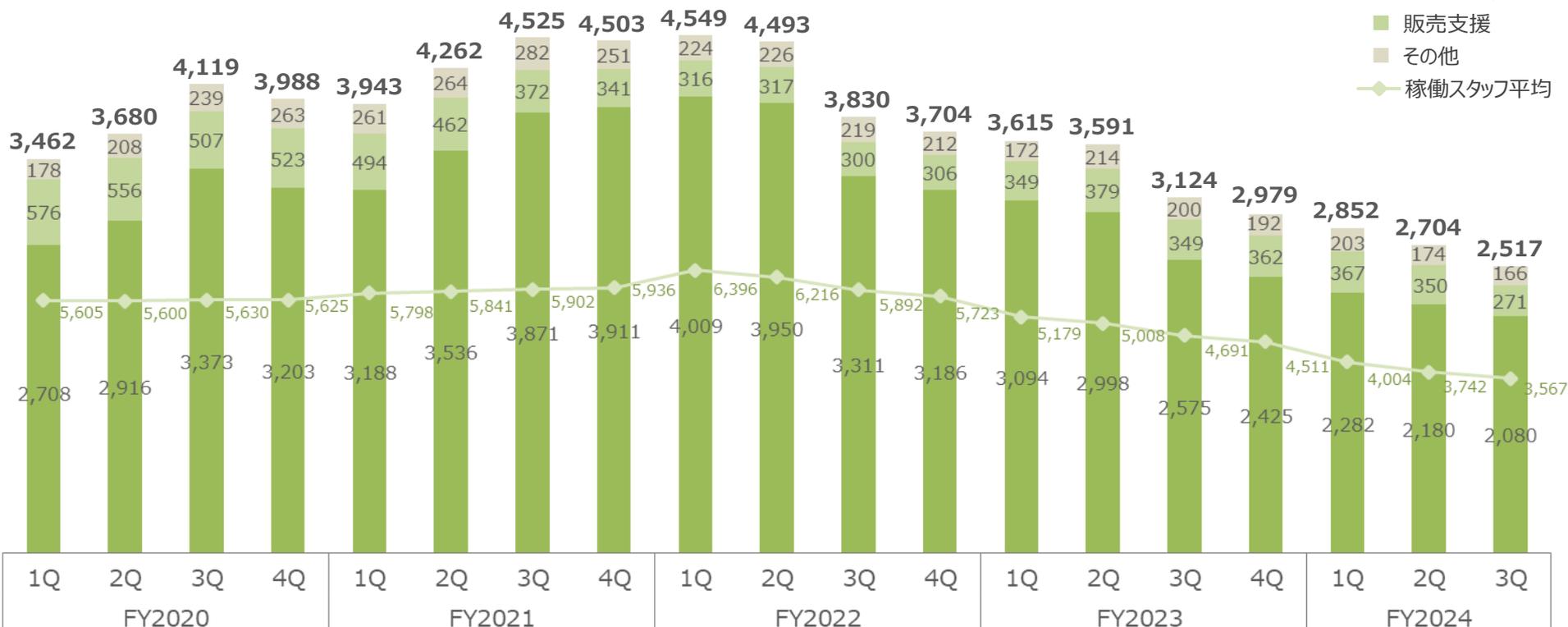
3Qは売上減少が続いたものの、わずかながらに需要回復の兆し。4Qでの底打ちを目指す

[コールセンター] 6,543百万円 (前期比△24.5%) [販売支援] 989百万円 (前期比△8.3%)

- ・ 売上減少は、年度末の退職者増の影響が残ったことによるもの
- ・ 需要回復は緩やかであるものの、派遣スタッフの退職超過は改善傾向に向かう

(百万円)

■ コールセンター
■ 販売支援
■ その他
◆ 稼働スタッフ平均



3. FY2024 業績予想

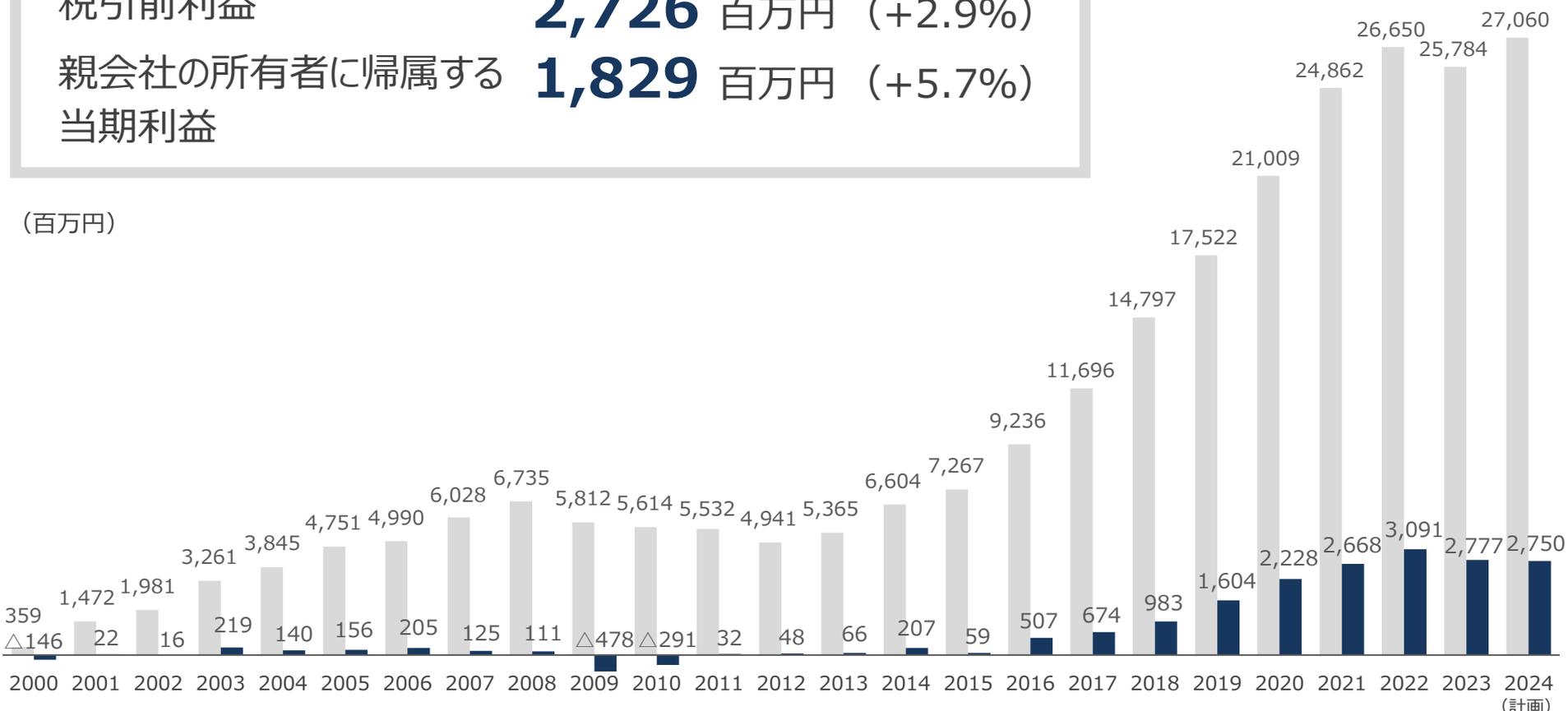
IFRS変更により、日本基準で増益だった営業利益が減益に。上振れによる増益を目指す

		(対前年比)
売上収益	27,060 百万円	(+4.9%)
営業利益	2,750 百万円	(△1.0%)
税引前利益	2,726 百万円	(+2.9%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,829 百万円	(+5.7%)

■ 売上収益 ■ 営業利益

※ FY2022以前のデータは、日本基準で開示

(百万円)



売上は、人材アウトソーシングサービスの未達の影響により、下振れの可能性あり
 営業利益は、ビジネスソリューション事業の上振れにより、計画達成を目指す

(百万円)	FY2024 計画	FY2023 実績	対前年増減	対前年比
売上収益	27,060	25,784	+1,275	+4.9%
売上総利益	9,625	8,907	+717	+8.1%
売上総利益率 (%)	35.6%	34.5%	-	+1.1pt
販売管理費	6,875	6,223	+651	+10.5%
売上高販管費率 (%)	25.4%	24.1%	-	+1.3pt
営業利益	2,750	2,777	△27	△1.0%
営業利益率 (%)	10.2%	10.8%	-	△0.6pt
税引前利益	2,726	2,649	+76	+2.9%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,829	1,730	+99	+5.8%

ビジネスソリューション事業は、増収増益継続
 人材ソリューション事業は、早期の底打ちを目指す

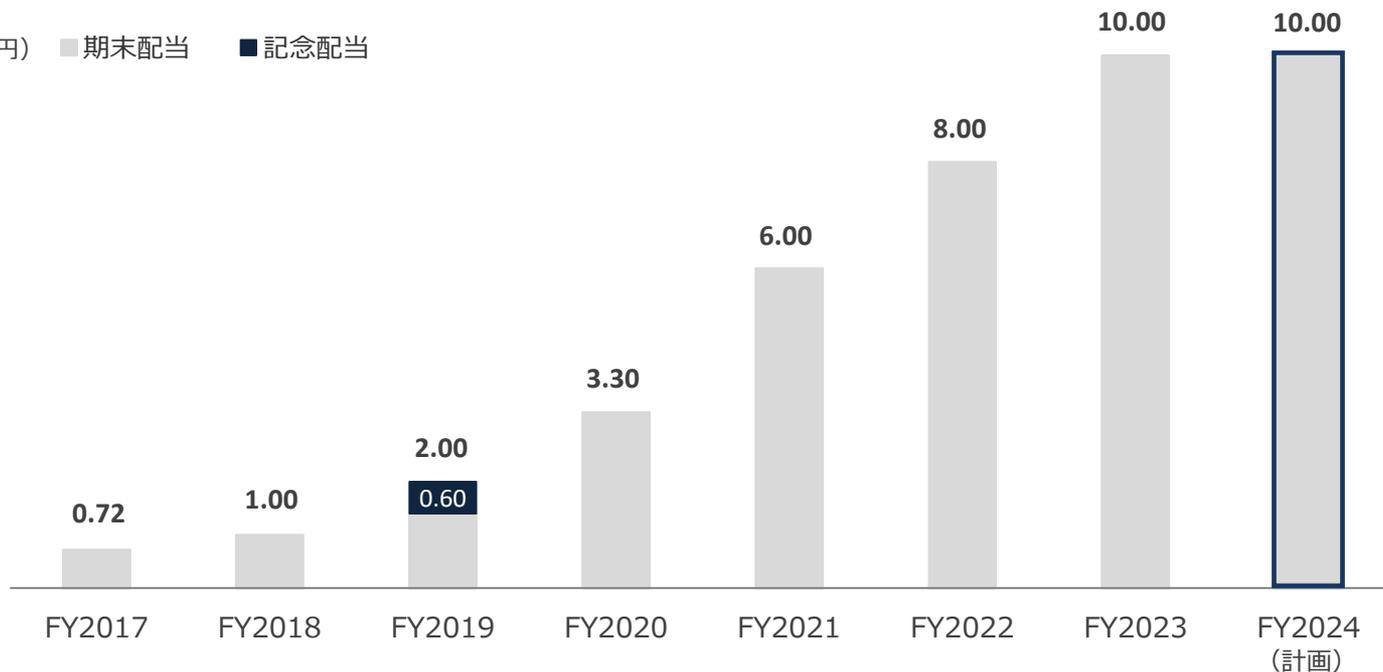
(百万円)		FY2024 計画	FY2023 実績	対前年増減	対前年比
売上収益	ビジネスソリューション事業	15,023	12,555	+2,467	+19.7%
	人材ソリューション事業	12,325	13,310	△985	△7.4%
	調整額	(288)	(82)	-	-
	合計	27,060	25,784	+1,275	+4.9%
営業利益	ビジネスソリューション事業	3,497	3,040	+456	+15.0%
	人材ソリューション事業	1,120	1,265	△145	△11.5%
	調整額	(1,867)	(1,529)	-	-
	合計	2,750	2,777	△27	△1.0%
営業利益率	ビジネスソリューション事業	23.3%	24.2%	-	△0.9pt
	人材ソリューション事業	9.1%	9.5%	-	△0.4pt
	合計	10.2%	10.8%	-	△0.6pt

ビジネスソリューション事業 : 障がい者雇用支援、広域行政BPO、環境経営支援など
 人材ソリューション事業 : 人材派遣サービス（コールセンター、販売支援など）
 調整額（営業利益） : 本社部門費用、共通費用、その他の収益・費用など

配当は10円を維持（連結配当性向43.2%）

配当計画

(単位：円) ■ 期末配当 ■ 記念配当



配当方針

連結配当性向30%以上
 (減益の場合でも単年度での連結配当性向60%を超えるまで減配しない)

GPIFが採用するESG投資指数6つのうち、3つに選定

FTSE Russell



ESG Rating **「3.8」** (上位20%に該当)

[採用指数]

FTSE Blossom Japan Index (351社)

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index (662社)



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

M S C I



ESG Rating **「A」**

C D P



Score **「A-」**
(8段階のうち上から2番目)

SUSTAINALYTICS



ESG Risk Rating
「Low Risk」



株式会社エスプール

[問い合わせ窓口]

社長室IR担当

E-mail kouhou@spool.co.jp

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において、当社が入手可能な情報により策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

会社名		株式会社エスプール (S-Pool, Inc.)
社名の由来		Solution・System・Staff・Sustainability を “ POOL ”する
本社所在地		東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル6F
資本金		3億7,220万円 (2023年11月末時点)
設立		1999年12月1日
代表		代表取締役会長兼社長 浦上 壮平
役員		取締役 佐藤 英朗 (公認会計士) 取締役 荒井 直 社外取締役 赤浦 徹 社外取締役 宮沢 奈央 (弁護士) 社外取締役 仲井 一彦 (公認会計士)
上場		東証プライム (証券コード: 2471)
従業員数		連結: 1,178名 (2024年8月末時点)
拠点数		92拠点 (2024年9月末時点)

親会社

 **S-POOL** [事業持株会社 & 新規事業開発]

(株)エスポール

グループ会社

 **S-POOL** [人材派遣・アウトソーシング]
Human Solutions

(株)エスポールヒューマンソリューションズ

 **S-POOL** [障がい者雇用支援]
PLUS+

(株)エスポールプラス

 **S-POOL** [広域行政BPO]
GLOBAL

(株)エスポールグローバル

 **blue.green** [環境経営支援]

(株)エスポールブルードットグリーン

 **S-POOL** [採用支援]
LINK

(株)エスポールリンク

 **S-POOL** [通販発送代行]
LOGISTICS

(株)エスポールロジスティクス

 **S-POOL** [事業承継支援]
BRIDGE

(株)エスポールブリッジ

 **S-POOL** [販売促進支援]
SALES SUPPORT

(株)エスポールセールスサポート

ビジネスソリューション事業 (48.5%)

- 障がい者雇用支援サービス [69.0億円]
 - ・ 障がい者専用の企業向け貸し農園の運営
 - ・ 就職支援サービス (障がい者の紹介)
- 広域行政BPOサービス [13.8億円]
 - ・ 自治体向けシェアード型BPOサービス
 - ・ オンライン窓口業務
- 環境経営支援サービス [9.4億円]
 - ・ CO₂排出量算定支援、クレジット仲介支援
 - ・ 自治体向け脱炭素支援サービス
- ロジスティクスアウトソーシング [14.7億円]
 - ・ EC通販の発送代行、越境ECサービス
- セールスサポートサービス [8.0億円]
 - ・ 販売促進支援 (キャンペーン、プロモーション)
- 採用支援サービス [7.1億円]
 - ・ アルバイト・パート採用支援「OMUSUBI」

人材ソリューション事業 (51.5%)

- 人材アウトソーシングサービス [133.1億円]
 - ・ 人材派遣/紹介サービス
 - 販売、営業スタッフ (スマートフォン/家電など)
 - オフィスワークスタッフ (コールセンター/事務)
 - 介護・看護・保育スタッフ
 - ・ アウトソーシングサービス
 - コールセンター、事務センター

※ 各売上高、セグメント比率はFY2023実績



秋葉原(グループ本社)、札幌テックセンター



9支店

札幌、仙台、新宿、池袋、名古屋、大阪
福岡、熊本、那覇



[物流センター] 2拠点

品川、流山



[エントリーセンター] 5拠点

北見、弘前、小松島、日南、西都



5支店

札幌、秋葉原、名古屋、大阪、博多



秋葉原



秋葉原



[わーくはぴねす農園] 51農園

- 【関東】 板橋①②、葛飾、豊洲、立川、横浜①②、さいたま①②③④、川越①②③
越谷①②、入間、三郷、市川、船橋①②③、若葉①②、花見川、松戸
柏①②③、八千代、市原①②、茂原①②、野田、印西
- 【中部】 名古屋①②、春日井、小牧①②、東海、長久手、豊明、みよし
- 【近畿】 大阪①②、東大阪、摂津、大東、枚方



[BPOセンター] 21拠点

- 【北海道】 北見、札幌
- 【東北】 むつ、弘前、大仙、大船渡、南相馬
- 【中部】 かほく、小松、魚津
- 【近畿】 長浜、志摩、田辺、神戸
- 【中国】 浜田、岩国
- 【四国】 三豊
- 【九州】 飯塚、中津、武雄、宜野湾

